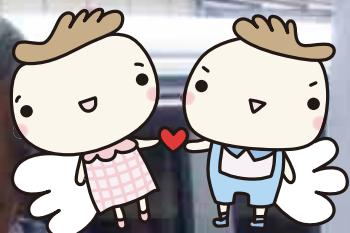




2

てとく

tetate



回覧板は
一声かけて
手から手へ

～米原市社協では、地域での
見守り活動を推進しています～

特 集

『移動販売』がつくる、
いつまでも暮らせる地域づくり

- ・マイささえあいスタイル
- ・大きくな～れ

《写真》

*梅サロンでの移動販売の風景。

生活に必要なものが、歩いて行けるところでお買い物ができ、世間話に花が咲きます。

会長就任御挨拶



この度、平成二十七年十二月七日の役員改選において米原市社会福祉協議会会長に再度選任いただきました。

皆様方には、平素から本会の地域福祉の推進に対しまして、深いご理解と温かいご支援ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、平和が続く日本で世界に類を見ない人口急減と高齢社会に入つていく今日、便利で快適な暮らしを手にした一方で、人のつながりが薄れることにより子どもから高齢者まで幅広い世代で多くの不安や課題が見えてきました。

昨年四月には生活困窮者自立支援法が施行されました。貧困や生活の困窮は高齢世代や非正規雇用で働く世代をはじめ、ひとり親家庭や子ども・若者などあらゆる世代に広がっていると言われますし、生活に息苦しさを感じている人やひきこもりの人も多いと見込まれる中で、地域のつながりの再構築を図るとともに、安心して暮らし続けられるよう自立支援と生活支援に向けた実のある取組みが求められているところです。

そこで、本会では様々な生活課題に対応するために、今までの実績を活かして各種相談や権利擁護事業の充実を、暮らしを支えるための担い手や働く場などの地域資源の発掘と各種サービスの創出と併せて、そのための仕組みづくりを着実に進めるとともに、生活の場に出向いて困り事を把握し、一人ひとりに寄り添いながら地域の中での課題解決へと取組みを広げ、介護が必要となつても、重度化予防の視点に立つて生きがいをもつて暮らしせるようケアの向上に努めることなどを通じて、安心して暮らし続けることができる地域づくりに皆様と手携手を取り組んでいく所存です。

今後とも、皆様方のさらなるご支援ご協力をお願ひ申し上げ就任のご挨拶といたします。

社会福祉法人 米原市社会福祉協議会 役員

● 理 事

(任期 平成27年12月6日～平成29年12月5日)

(敬称略)

役職	氏 名	選任区分	備 考
会 長	吉田 正子	知識経験者	地域の代表(米原地域)
副会長	西秋 清志	知識経験者	地域の代表(山東地域)
理 事	木船満千子	社会福祉事業経営者	社会福祉事業を経営する団体の役職員
理 事	中川 哲夫	社会福祉に関する活動を行う関係者	ボランティア活動を行う代表
理 事	三宅 元夫	社会福祉に関する活動を行う関係者	民生委員児童委員協議会の代表
理 事	木村 幸太郎	社会福祉に関する活動を行う関係者	老人クラブ連合会の代表
理 事	長谷川綱雄	社会福祉に関する活動を行う関係者	障害者関係団体の代表
理 事	伊藤 信義	知識経験者	地域の代表(伊吹地域)
理 事	谷口みゆき	知識経験者	地域の代表(近江地域)
理 事	上野 博志	知識経験者	
理 事	山崎 完一	知識経験者	
理 事	前田 高司	知識経験者	
理 事	木田 清孝	知識経験者	
理 事	赤井 義照	知識経験者	
理 事	佐竹 登志子	福祉関係行政職員	福祉関係行政職員

● 監 事

役職	氏 名	選任区分	備 考
監 事	小松 博夫	知識経験者	法人事業運営について監査しうるもの
監 事	古澤 宏之	知識経験者	財務諸表を監査しうるもの

社会福祉法人米原市社会福祉協議会 評議員

(任期 平成27年10月1日～平成29年9月30日)

(敬称略)

氏名	選任区分	氏名	選任区分
関井清志	地域の代表者	宮口敏夫	ボランティア連絡協議会の代表
山根佐夫	地域の代表者	宮部道雄	民生委員児童委員協議会の代表
奥田英樹	地域の代表者	清水理男	民生委員児童委員協議会の代表
高木敏浩	地域の代表者	重吉豊	民生委員児童委員協議会の代表
宮川憲一	地域の代表者	岩崎文松	老人クラブ連合会の代表
和田譲	地域の代表者	松井重廣	老人クラブ連合会の代表
富田茂	地域の代表者	清水克章	老人クラブ連合会の代表
川井康治	地域の代表者	山添久子	社会福祉施設の代表
一ノ宮賢了	地域の代表者	山田妙子	当事者団体の代表
鍔田進	地域の代表者	前川明廣	経済・労働団体の代表
宇野慶壽	地域の代表者	野一色順子	知識経験者
日比正	地域の代表者	有賀尚子	知識経験者
大岩義和	地域の代表者	前田義信	知識経験者
前川雅昭	社会教育・学校教育関係の代表	小川美恵子	知識経験者
堀川宏	ボランティア連絡協議会の代表	田中三恵	赤十字奉仕団の代表
角田順子	ボランティア連絡協議会の代表		

会務

評議員会

■平成27年度第2回評議員会 平成27年11月17日(火)

議案第1号 新理事の選任について

議案第2号 新監事の選任について

議案第3号 平成27年度第1回補正予算について

理事会

■平成27年度第5回理事会 平成27年11月17日(火)

議案第1号 平成27年度第1回補正予算について

議案第2号 経理規程の改正について

議案第3号 特定個人情報取扱規程の制定について

議案第4号 正規職員就業規則の改正について

議案第5号 准正規職員就業規則の改正について

議案第6号 パートタイマー職員就業規則の改正について

ついて

議案第7号 各事業所宿泊サービス運営規程の制定

について

■平成27年度第6回理事会 平成27年12月7日(月)

議案第1号 会長、副会長の選任について

【移動販売】がつくる、いつまでも暮らせる地域づくり

大型店舗ができ便利になる一方で、集落などにあつた地元商店の閉店が増えてきています。それに伴い、車が運転できないなどの理由で、昔のように、自分自身でお買いい物ができないお年寄りも増えています。昔は当たり前のようにあつた地元商店は、自分で商品を選ぶ楽しみの場であると同時に、ご近所の方々が集う社交場でもありました。そんな中、自分たちの地域は自分たちで創ろうと、米原市内でも社会福祉協議会が関わるなかで、地域と地元商店がつながりあつてお買い物ができる地域づくりとして「移動販売」の取り組みがはじまつた事例もあります。それは、どのようなものなのでしょうか。

4年前から「移動販売」に取り組む大野木地域。「移動販売」が行われている大野木長寿村まちづくり会社が運営するたまり場に伺つて、地域の思いとして、社長の西秋清志さんにお話をお聞きしました。

●：「移動販売」をされるきっかけについて教えてもらえませんか？

●：社協さんにも入つてもらつて、今後の地域づくりをどうするかについて考える会議をもつたんですね。そのとき、買い物支援のアイデアの一つで「移動販売」が出たんです。確かに、まち会社のたまり場で聞いてみると、結構「買い物をしたい」という思いをたくさん聞くんですね。というのも大野木にも商店があつたんですが閉店してしまわれたんで。だから「移動販売」ができるいかなど思い立ちました。きっとお買い物が昔の様にできるようになると元気になる方もいるんじゃないかなと思いましてね。

西秋（以下）…大野木長寿村まちづくり会社を設立して5年目からだから丸4年ぐらいたっています。毎週土曜、週に1回来てもいつもこんな感じです。

か？

西秋（以下）…とてもにぎやかですね。移動販売をはじめてどれくらいになるんですか？

西秋（以下）…大野木長寿村まちづくり会社を設立して5年目からだから丸4年ぐらいたっています。いつもこんな感じです。



民間企業退社後、地域づくりを目的に、平成23年9月、大野木人による大野木人のための会社、大野木長寿村まちづくり会社を地域の有志で設立。地域の居場所作り「たまり場」事業、特産品開発販売、配食サービス、困りごと解決のための高齢者相談訪問事業などを手掛ける。夢は大野木にグループホーム「大野木館」をつくること。

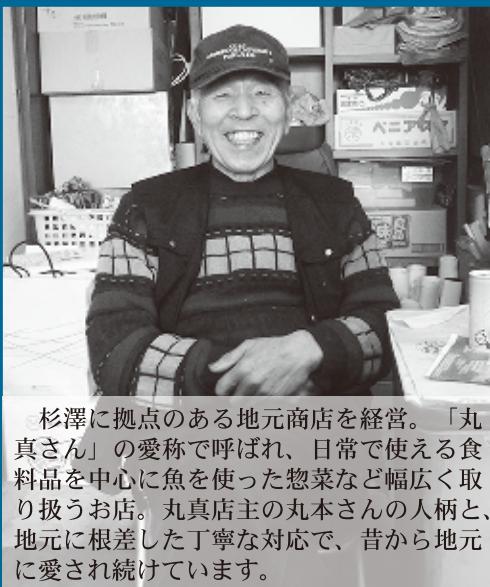
大野木長寿村まちづくり会社
社長 西秋 清志さん

●：丸真さんが移動販売にこられていました。どういった経緯できてもらうことになつたんでしょうか？

●：そうですね。もともと会社の役員とのつながりもあつたんですね。あと、丸さんは杉澤にあつて、大野木のお隣。大野木のたまり場を利用してお年寄りは、昔から丸真さんのお客さんだつたんですよ。今は、自転車に乗れなくなつたりで、直接行けなくなつていても、そのころのつながりがあるので、きっと良い関係になるのではと思つてお願いしました。

●：なるほど、これまでからのつながりがあるので、きっと良い関係になるのがあつたわけですね。それと、よく見ると、

丸 真 商 店
店主 丸本 安宏さん



杉澤に拠点のある地元商店を経営。「丸真さん」の愛称で呼ばれ、日常で使える食料品を中心に魚を使った惣菜など幅広く取り扱うお店。丸真店主の丸本さんの人柄と、地元に根差した丁寧な対応で、昔から地元に愛され続けています。

丸真商店店主の丸本さん以外で、販売員をされている方も見られますか？あれはどちらの方ですか？

：あれば、まち会社のスタッフです。お店を開かれて、20分ぐらいは、丸本さん一人では大変なので手伝うようにしておられますよ。

：それはまち会社で決められたルールなんですか？

：いえ、特に決めているわけではなくて、お互い様で助け合っています。買い物をしている利用者の方がとてもうれしそうなので、みんなで居場所作りをしている感じです。おかげさまで、丸真さんの商品の説

明も達者になるというか、けつこう働いてますよ。

：こうやって一緒に売り場をつくることで、いいことはありましたか？

：やつぱり、何気ない会話のなかで、生活のことがわかるので見守りができる

と感じます。野菜をどう料理するとか、たわいのない話をするのですが、そのなかでその人となり、普段の暮らしがわかるようになります。おかげで、何が今は売れ筋か、野菜をこうやって料理したらなんていうアドバイスまでできるようになりましたけどね。

見守り効果もあると

いうことなんですね。ところで、はじめてみて大変だったことや、苦労されたことはありますか？

：そうですね。丸真さんがきててくれるところが普通になってしまって、丸真さんがこれないときに待つているお客様がいるんです。そんなときは、丸真さんから商品を預かつて、代わりにスタッフだけで売つたことも。そんなときは大変です（笑）しかし、丸真さんが出てくれることで食堂のお客さんが増えました。

：なるほど。ある意味、うれしい苦労ですね（笑）最後に今後の移動販売についてお聞かせください。

：今は、丸真さんは食料品を中心なの

で、今後はできれば衣服や生活用品の要望にも答えていきたいです。丸真さんが、つながりで、他商店から衣服とかも持つてき

て販売されるとか、そういうところから調整できるといいなと思っています。それに、子ども達も交じり合う空間づくりがしたいので、お菓子とかもいいですね。居場所とすると、お年寄りが集まるイメージですが、お買いものは誰がしても構わない

し、子どもでも良いわけですね。近くに買える物ができる場所ができれば、きっとお年寄りが孫を連れてくるというような風景も見られるんじゃないかなって。そう思うんです。

一方で移動販売をしている商店の方の思いはどうなのでしょうか。大野木長寿村まちづくり会社と共に移動販売を行っている丸真商店さんに伺つて、店主の丸本安宏さんにお話をお聞きしました。

：丸本さんにお聞きしたいんですけど、大野木の移動販売の話があつたとき、率直にどう思われましたか？

丸本（以下）：良い話だと思いました。大野木まち会社さんは本当に地域のためにいい取り組みをされてるって聞いてましたし、素晴らしいなと思っていましたんで、ぜひ一緒にできればと思いました。大野木は、



「お元気ですか？これ夕食のおかずはどうですか？」
大野木長寿村まちづくり会社のスタッフも一緒に店頭にたって世間話。

野木まち会社に協力してもらつて、前日の区内放送で、たまり場でこんなメニューで食堂やりますよつついます。丸真さんがき

お客様を呼んでるんですか？

野木まち会社に

お客様は、どんな風に困つているお客様がいると思うから、だからこそ何か違う形でできないかって思うんですね。大野木の場合

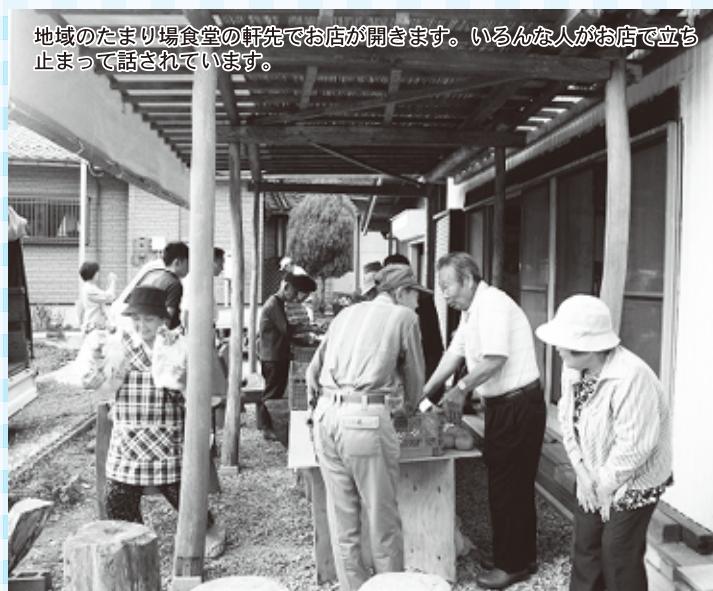
ますよ」つて流してもらつてるんです。なんかここまでしてもらえるとは思つてなかつたんですが、ちゃんとそれはお互い良い関係ですのでやれるんだと思ひます。

長西秋さんにも聞いたら、とてもいい関係だと話しておられました。移動販売をしてみてよかつたことはありますか。

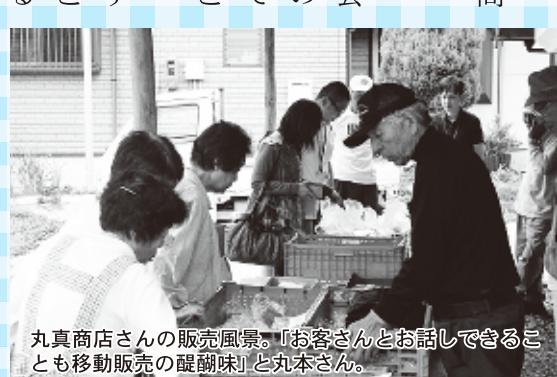
：昔からうちを利用してくれていた方が、これなくなつてずっと会つてなかつたのですが、こうやって移動販売でくると十数年ぶりみたいな人と出会つたり。で、またお客様になつてくれて、元気な顔が見

なじみのお客さんもいますしね。
：丸真さんは、イベントをはじめいろんなところに出店されるとお聞きしました。以前からそうなんですか？
：そうですね。時代に合わせて、できることはやりたいと思つています。待つても前ほどお客様は来なくなつてきます。少子高齢化は、お店側は直に感じられるんですよ。「先週来てくれたのに、今日は来なかつたな、どうしたんだろうか」とか心配に思うんです。お買い物で困つているお客様がいると思うから、だからこそ何か違う形でできないかって思つてますね。

今日は来なかつたな、どうしたんだろうか」とか心配に思うんです。お買い物で困つているお客様がいると思うから、だからこそ何か違う形でできないかって思つてますね。大野木の場合



地域のたまり場食堂の軒先でお店が開きます。いろんな人がお店で立ち止まって話されています。



丸真商店さんの販売風景。「お客様とお話しできることも移動販売の醍醐味」と丸本さん。

：社協としてはこういうお買い物の形が米原市内に広がるといいなと思っていました。だからこそ聞いてみたいのですが、何か移動販売でトラブルはありましたか？
：今のところは特にはないです。ただ、やっぱり商売なので、週に1度といつても、持つてくる商品は、いつも変えてます。何か目玉をつくるとかですね。イベントをしたりとか。
：それは、移動販売ならではの工夫ですか？
：そうですね。今まで、全て店に置いておけば、そこからお客様が選ぶので、それでよかつたんですが、移動販売となると軽トラに載せていくる量も限られます。だから今日は「これが売れる」と選んでいくんです。
：つまり、お客様との会話をから、次回の売り物を選んでいるということですね。
：そうです。次、来るときに持つてくる

各地での「移動販売」の様子

衣料品 世継サロンとマコトヤ



生活雑貨 梅サロンと森口商店



食料品 大清水サロンと丸真商店



移動販売をしてみたい事業者、来てもらいたい地域の方は気軽にお問い合わせください。

米原市地域支え合いセンター
(米原市社会福祉協議会)

住所：米原市池下428
ボランティアセンター三島荘内

電話番号：0749-55-3933

メールアドレス：
m-shakyo-mishima@zd.ztv.ne.jp

と約束していますから、無駄なものはない。で、お客さんも次楽しみにして待つてくれるというわかりやすく丁寧な関係が続きます。

●大野木での「移動販売」をしたこと

で、何か発見したことはありますか？

●：そうですね。こんなことがあります。雨の日のことです。でも、必ず老人車をおしてきてくれる方がいるんです。やつぱり大きなスーパーとかができる、便利になつたけど、それで買い物ができるのは、車に乗れたり、家族に連れていくてもらったりという人だけ。実際は、地域で、一人で暮らしている方など、まだまだお買いものが自分でしたいという人が残されているんだなと思いました。

●：今回の話で地域と商店が本当に良

これから高齢社会のなかで、暮らしを支えるお買い物のカタチとしての「移動販売」。これまで地域支え合いセンターでは、モデル事業として地域と地元商店を調整し、「移動販売」の取り組みを重ねてきました。

モデル事業を展開する中で、商品を通じての仲間同士やお店の人とのやり取りなどを通じて、つながりで地域の暮らしが成り立っていることを実感しています。これからもさらにこの取り組みをすすめ、買い物に困っている方の支援、選んで買う楽しみを広げていきたいと思います。

《移動販売の3つの効果》

1. 交流

住民が集い交流の場がうまれます。

2. 見守り

お買い物に来るお年寄りの見守りにつながります。

3. 生活支援

お店が遠くて行けない人が買い物できるようになります。



共同募金へのご協力ありがとうございました

平成27年度共同募金実績

11,394,139円

赤い羽根募金

7,463,039円

戸別	5,620,144円
街頭Ⅰ・Ⅱ	168,882円
学校	313,114円
職域	300,003円
イベント	162,866円
個人	245,701円
その他	116,345円
法人	535,984円

<使いみち>

この募金は平成28年度に実施される、さまざまな福祉活動やボランティア活動を支えるために役立てさせていただきます。

- 小地域福祉活動
- 広報誌(社協まいばらてとて)の発行
- ボランティア活動の支援 他

歳末たすけあい募金

3,931,100円

<使いみち>

この募金は平成27年度の歳末時期の福祉活動や、個人および事業所・当事者団体へ配分させていただきました。

○個別配分	2,691,000円
○事業所配分	950,000円
○当事者配分	80,000円
○地域福祉事業	40,000円
○平成28年度事業配分	170,100円

愛らんどに登場！！

「じぶんの町をよくする自動販売機」

飲み物を買うだけで、赤い羽根共同募金に募金できる自動販売機を伊吹健康プラザ愛らんどに設置いたしました。施設を利用される方からの水分補給（脱水症予防）のための自動販売機設置の要望と、赤い羽根共同募金の「じぶんの町を良くする仕組み」とが合わさっての設置となりました。ぜひご利用ください。

※じぶんの町を良くする自販機を設置いただける方を募集しています。設置する人も買う人も気軽にできる地域（社会）貢献です。ぜひお問合せください。



法人募金として下記の事業所よりご協力をいただきました。

竹中駐車場
株式会社旭ハウジング
杉山電気設備管理事務所
有限会社福永石油
株式会社横田製作所
松下医院
小林養鱒場
塙田医院
古澤税理士事務所
東湖産業株式会社
長浜葬祭有限会社 長浜斎場ソニアホール2
にのみや歯科医院
レーク伊吹農業協同組合
有限会社葉広タイヤ商会
伊吹の里 旬彩の森
有限会社高木製作所
株式会社又サ的場商店
西川自動車株式会社
有限会社伊吹金属

地域包括ケアセンターいぶき
日本ソフト開発株式会社
長浜信用金庫米原支店
株式会社フタバヤ
カーメンテナンスオオツカ
堀川石材店
三黄通運株式会社
株式会社ケアサポートみしま池
谷孫料理店
株式会社三原モータース
有限会社山崎オートサービス
滋賀鉱産株式会社
有限会社北川モータース
有限会社白谷木材
ミュール
醒井樓
立木与三郎商店
丸真商店
有限会社粕渕設備

有限会社羽剣石油
社会福祉法人大樹会
米原市山東工場部会
株式会社きたむら楽器
扶桑工業株式会社
緑土開発株式会社
フジモト
有限会社小林屋
有限会社マコトヤ
農事組合法人いをぎファーム
ヤンマー株式会社中央研究所
中西石油株式会社
有限会社伴自動車
利高工業株式会社
光製作所
まごの手ケアサービス
有限会社ミルクファーム伊吹
三軌工業株式会社

(順不同 敬称略)



相 談

・常時相談

社協職員が相談員として対応し、各関係機関と連携し継続的な相談支援を行います。

月～土曜日、午前8時30分から午後5時30分まで。

〈問合せ〉米原市社会福祉協議会本部および社協各センター

・心配ごと総合相談

暮らしの困りごとや悩みごとの相談を受け付けます。

相談は無料。時間はいずれも10時～12時まで（相談受付は11時まで）で、相談時間は1時間程度。

相談員は、行政相談委員・人権擁護委員・民生委員児童委員（身体障がい者相談員・知的障がい者相談員が入られる日もあります）

〈問合せ〉米原市 福祉支援課（山東庁舎）TEL：55-8110

相談日	会 場	相談日	会 場
2月 2日(火)	やすらぎハウス（顔戸21-2）	3月 1日(火)	やすらぎハウス（顔戸21-2）
2月 9日(火)	ルッチプラザ（長岡1050-1）	3月 8日(火)	ルッチプラザ（長岡1050-1）
2月16日(火)	ゆめホール（三吉570）	3月15日(火)	ゆめホール（三吉570）
2月23日(火)	愛らんど（春照56）	3月22日(火)	愛らんど（春照56）

・法律相談

法律に関する相談ごとで、解決の窓口となるよう弁護士が初回の相談に応じます。事前にお申込みください。

相談日	会 場	相談日	会 場
2月18日(木)	やすらぎハウス（顔戸21-2）	3月10日(木)	ルッチプラザ（長岡1050-1）

料金 1,000円。時間は10時～12時まで、1回30分以内。

〈問合せ・申込み〉米原市 福祉支援課（山東庁舎）TEL：55-8110

ご協力ありがとうございました

平成27年度
米原市社会福祉協議会特別会員

地域福祉の推進のために、
大切に使わせていただきます。

「社協まいばらてとて」11月1日号にてご報告後、
下記企業よりご協力いただきました。

まごの手ケアサービス

前号の広報において一部記載漏れがありました。
謹んでお詫び申し上げます。

和食すし処番野 (敬称略)

べんてんや

ダイセー倉庫運輸株式会社

有限会社 藤井総合保険センター

有限会社 山善

近江ユニキア販売(株)

カーメンテナントオオツカ

バリバリジョニー米原店

セブンイレブン顔戸南店

セブンイレブン米原一色店

セブンイレブン米原野一色店

セブンイレブン伊吹春照店

ファミリーマート米原箕浦店

有限会社 亀田商会

善意銀行だより

平成27年9月1日～平成27年9月30日
(敬称略)

〔金銭預託〕

本田道子 100,000円

〔物品預託〕

匿名 タオル

匿名 タオル

アストラゼネカ株式会社 ユニフォーム

匿名 米

真野修 おはぎ

大久保秀雄 米



善意銀行だより

平成27年10月1日～平成28年1月15日
(敬称略)

〔金銭預託〕

匿名 10,000円

株式会社フタバヤ募金箱 30,622円

株式会社フタバヤ睦会 150,000円

株式会社フタバヤ売上協賛金 158,352円

JAレーク伊吹 女性部 3,200円

米原民生委員児童委員協議会OB会 1,113円

三菱樹脂労働組合山東支部 125,000円



フタバヤ様



三菱樹脂様

〔物品預託〕

匿名 米

北村澄子 米

匿名 米・缶詰

宇賀野福祉会 園芸ボランティア なでしこ苗

真野修 おはぎ

匿名 トイレットペーパー

匿名 手押し車3台、シャワーチェア

米原の自然の恵み 干し柿用柿

富田朝子 お手玉

匿名 柿

宇賀野営農組合 米・大根

堂谷自治会 座椅子17台

匿名 米

伊吹民生委員児童委員協議会 赤外線ヒーター

障がい者福祉部会

JAレーク伊吹 女性部 米、もち米、他

村岡浩和 尿とりパッド

大久保秀雄 米

白ゆりグループ 雑巾・タオル・石けん・布団カバー他

米原市立山東小学校 米

匿名 ねまき



山東小学校様

暮らしを支える活動団体のための
スキルアップ講座

スゴワザ講座 開催しました！

スゴワザとは、住民の暮らしを支える生活支援サービスを行う地域団体の運営に役立つスキルです。地域の課題を解決するための様々なワザを発掘し、講座で提供していきます。12月12日(土)、今回、米原地域福祉センターゆめホールで開催されたスゴワザ講座では、地域でお買い物や通院の移動支援を行う団体、またこれから活動をはじめようとしている方々に参加いただきました。



ご自身のタクシードライバーの経験から、
安全にお客様を送り届ける運転テクニック
を助手席に乗って教えて頂きました。



**スゴワザ師紹介
山本 克巳 氏
ユニバーサルドライバー
研修講師**

今回は、
ユニバーサル
ドライバー研修講師の
山本克巳さんの「買い物・通院
で安心・安全に車両を乗りこなす
ワザ！」をテーマに開催し
ました。



車イスに乗車し、利用者の気持ちを体験
する為に、リフト車両の操作テクニッ
クについて実際に動かして学びました。



○参加者の声

「運転試験を受けていたる気持ちでした。
その欠点の指摘を受け、自分の不注意
が明らかになった。」
「講義だけでなく実技を受けることができてよかったです。」
「学んだことを是非、団体のスタッフに
も共有したい。」

スゴワザ講座は、これからも暮らしを支える
団体のためのスキルアップ講座として「スゴワ
ザ講座」を開催していきます。これから何か活
動をはじめたいと考えておられる方はぜひ、米
原市地域支え合いセンターまでご相談ください。

○連絡先

米原市地域支え合いセンター

(社会福祉法人米原市社会福祉協議会)

521-0221 滋賀県米原市池下428 ボランティアセンター三島荘内

電話:0749-55-3933

Mail:m-shakyo-mishima@zd.ztv.ne.jp

平成27年度米原市ボランティアのつどい 開催しました！

平成27年11月24日、米原市ボランティア連絡協議会と米原市地域支え合いセンターの共催で、米原市ボランティアのつどいを開催しました。講師に、NPO法人しみんふくし滋賀の成瀬和子さんをお迎えし、「有償・無償を活かした多様なボランティア活動」について学びました。



NPO法人しみんふくし滋賀
成瀬 和子 さん

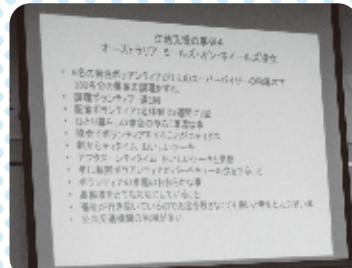
成瀬さんから、みんなで支える仕組みをつくる中で、介護保険制度ができる前から有償の生活支援をされてきた、しみんふくし滋賀の成り立ちをお聞きしました。

○多様なボランティアの種類（成瀬さん資料より）

- ・無償ボランティア：完全無償のボランティア
- ・実費弁償的ボランティア：交通費など実費は支払い
人件費は無償
- ・有償ボランティア：人件費も少しだけ支払う
- ・コミュニティビジネス：地域資源を活用しながら事
業化して、運営に必要な経費を稼ぎ仕事をつくる形
ボランティアも参加する

有償ボランティアのメリットは何でしょう？

1. 利用者が頼みやすい。
お返しなど気をつかわなくてよい。
2. 担い手が参加しやすい。
少しでもお金がいただけると活動の動機になります。
3. 団体の運営費に充当できる。
活動を継続するための団体の運営費にもつながります。



たくさんの市内ボランティア活動者がつどいました。

○参加者の声

「多様なボランティア活動がよくわかった。」「少しでもいいから有償ボランティアをやってみようと思った。」「これからボランティア活動や自分自身の活力や楽しみを活かしていきたいと思います。」「お話を聞かせて頂いてよかったです。これからもボランティアに参加したいと思います。」「地域活動の取り組みがわかりやすく、色々と勉強しました。ありがとうございました。」

○連絡先

**米原市ボランティア連絡協議会
(事務局 米原市ボランティアセンター)**

521-0221 滋賀県米原市池下428 ボランティアセンター三島荘内
電話:0749-55-3933
Mail:m-shakyo-mishima@zd.ztv.ne.jp

米原市ファミリー・サポート・センター

がらのお知らせ

大きくな～れ

米原市のみなさんに役立つ
子育て情報をご紹介



<平成27年12月末現在の会員数>

利用会員	24名
両会員	1名
サポート会員	30名



<平成27年12月末現在の利用実績>

米原地域★	10回
近江地域★	4回

☆活動内容

- ・保護者就労時等の預かり
- ・出産後里帰り時の預かり
- ・習い事への送迎



ファミサポ交流会「まいばる」のお知らせ

会員の交流と、地域の皆様にファミサポを広く知っていただくため、交流会を開催いたします。

今回は、室谷すて美先生による『押し花体験教室』です。おいしいお菓子や、飲み物もご用意しておりますので、みなさんの参加をお待ちしております。

日時：3月5日(土)午前10時～11時半

場所：ゆめホール2F

対象：会員及び、ファミサポを利用したい、子育てを応援したいとお考えの市内在住の方

※利用会員・ファミサポを利用したい方については、親子での参加をお願いします。

内容：押し花体験（カレンダー作り）

定員：50人 ※託児あり

申込締切：2月29日（月）

申込・問合せ：

米原市ファミリー・サポート・センター
(電話/FAX 55-3933)

『子育てサポーター養成講座』

米原市では、4月よりファミリー・サポート・センター事業がスタートし、地域の皆様に子育てを応援していただいているところです。しかしながら、様々な理由でマッチングが難しく、待機している方も多い状況です。

そこで、今年度末に第2回子育てサポーター養成講座を開催し、新しくサポート会員さんになっていただける方を大募集したいと考えています。お知り合い・お友達を是非ご紹介ください。

日 時：平成28年3月19日(土) 午後1時から5時まで
内 容：育児に関する心構えや活動に必要な知識などの講義
場 所：米原地域福祉センターゆめホール2F 大会議室
受講条件：米原市内在住で、19歳以上の方
受 講 料：無料(定員20名)
申込締切：3月12日(土)
申 込 先：米原市ファミリー・サポート・センター
(電話/FAX: 55-3933)

秋のこもち～ズ広場より誕生した『わんぱ～く』きらめきステーションにて



元気に活動中！

外遊びや体を動かすことが大好きな親子のサークルで、いつもひろ～い多目的広場で、楽しんでいます。

みんなで作った段ボールキッチンも大活躍です！！



田辺
善晴
くん
1歳2ヶ月

**わが家の
アイドル**

各種事業に関するお問合せ・お申し込み・ご意見は、
下記の法人本部・各センターまで

法人本部

米原市三吉570番地 米原地域福祉センター ゆめホール内
TEL 54-3105 FAX 54-3115 maibarashi-shakyo@leto.eonet.ne.jp

山東地域福祉活動センター ボランティアセンター三島荘

米原市池下428番地
TEL 55-3933 FAX 55-3933 m-shakyo-mishima@zd.ztv.ne.jp

伊吹地域福祉活動センター

米原市春照56番地 伊吹健康プラザ愛らんど内
TEL 58-1770 FAX 58-2231 m-shakyo-s.ishi@zb.ztv.ne.jp

米原地域福祉活動センター

米原市三吉570番地 米原地域福祉センター ゆめホール内
TEL 54-3110 FAX 54-3115 maibarashi-shakyo@leto.eonet.ne.jp

近江地域福祉活動センター

米原市額戸21番地2 近江地域福祉センター やすらぎハウス内
TEL 52-1463 FAX 52-8051 m-shakyo-oshi@iris.eonet.ne.jp

発行：平成28年2月15日

社会福祉法人 **米原市社会福祉協議会**

〒521-0023 滋賀県米原市三吉570番地 米原市米原地域福祉センターゆめホール内

TEL 0749-54-3105 FAX 0749-54-3115

<http://www.maibara-shakyo.or.jp/>

この広報は一部赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

